

伊藤青少年奨学会
奨学生決定へ面接
大学進学希望者51人
伊藤青少年育成奨学会
(田代久美子理事長)の2
021年度の奨学金給付事



面接を受ける大学進学希望者＝多治見市十九田町、バロー文化ホール

業の奨学生を決める面接が
17日、多治見市十九田町の

バロー文化ホールで始まっ
た。

同会はバローホールディ
ングス創業者の故伊藤喜美
氏の個人資産の一部を元に
設立。2000年度から、
大学に進学する県出身者や
県内在住者のほか、県内大
学への進学者に年間36万円
の奨学金を給付している。
21年度は大学進学希望者
98人が応募。自己PRや小
論文の一次選考を通過した
大学合格者51人が、田代理

事長らによる2次選考の面
接に臨んだ。面接は18日ま
で2日間の日程で行い、内
定者30人程度を選ぶ予定。
選考委員らは「新型コロナ
ウイルス感染症の影響で
家庭の収入が減り、進学に
影響を受けた人もいるが、
真摯に学業や将来について
考えていて感心させられ
る」と印象を話していた。
理事会での最終選考を経
て4月上旬には選考結果が
通知される。(箕浦田美子)